

家 庭 基 礎

教科	家庭	単位数	2	学科・学年・組	全学科 2年
使用教科書	「新図説 家庭基礎」 実教出版				
副教材等	「家庭科55デジタル+」 教育図書				

「家庭基礎」はどんな科目？

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付けます。

1 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学習内容（単元名）	学習のねらい
1 学期	4	1. 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のライフプランを考える。 ・青年期の課題や生き方について考える。 ・現代の家族・家庭の特徴を理解する。
	5		
	6	2. 食生活をつくる	
2 学期	7		<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割や現代の食生活の課題について理解する。 ・栄養素の働きや食品の調理性を学ぶ。
	8	3. 子どもとかかわる	
	9		
	10	4. 高齢者とかかわる	
	11	5. 社会とかかわる	
	12	6. 衣生活をつくる 7. 住生活をつくる	
3 学期	1	8. 経済的に自立する	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の消費生活の特徴を理解する。 ・消費行動において適切な意思決定をし、経済計画と家計管理ができるようにする。 ・環境問題と消費行動を考え、持続可能な社会の取り組みについて理解する。 ・自分のライフプランを深める。
	2	9. 自分らしい生き方と家族	

2 評価の方法

評価の観点	評価の内容	評価の方法
知識・技能	人間の発達や生活を総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	定期考査、実技テスト、被服実習作品など
思考・判断・表現	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する等して課題を解決する力を身につけている。	ホームプロジェクト、定期考査
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとすると共に、自分や家庭、地域の生活を創造、実践しようとしている。	授業への取り組み、授業プリント